

JOCエリートアカデミーだより



【アーチェリー】 ソウルフェスタ

7月6日から12日までの1週間、ソウルフェスタ(Seoul International Youth Archery Festa 2017)がソウル(韓国)のソウル体育高校で開催され、高見愛佳さん、高見朋夏さん、渡邊さん、園田さんの4名が出場しました。

この大会は、カデット(15歳から17歳)を中心にオリンピックと同じ試合形式で競技を体験させることと、国境を超え、参加する選手やコーチがそれぞれ積極的に他国の人と関わることで異文化を体験し、将来の青少年の健全な発育・発展や相互理解を築くような動機づけをすることを目的としています。

個人戦には46名が参加し、72本の矢を射ち、合計720点満点で行われました。予選は高見(愛)さん643点で9位、



【左から渡邊さん、園田さん、
高見朋夏さん、高見愛佳さん】

渡邊さんが634点で14位、高見(朋)さんが626点で16位、園田さんが571点で27位という結果でした。決勝ラウンドには、渡邊さん、高見(愛)さんがベスト16に進出しました。渡邊さん

は優勝した韓国の選手に4対0でリードしていましたが、激しいスコールと雷で試合が中断し、その後、5対5に追いつかれ、シュートオフの末5対6で敗れました。高見(愛)さんはベスト8に進出し、予選1位の韓国選手に2対6で敗れ、第5位という結果でした。

団体戦には11の国と地域から14チームが参加しました。1回戦はシードとなり、初戦となる準々決勝ではアメリカに6対0のストレートで勝ち、翌日からは会場を「Seoul Olympic Park」に移し、オリンピック方式でテレビ中継が行われる中での競技となりました。準決勝は、地元韓国チーム相手に完全アウェーの中、5対3で接戦を制し、決勝に進出しました。

決勝の相手は、予選1位のチャイニーズタイペイでした。ポイント4対4で最後にシュートオフとなり、26対26の同点となりましたが、的の中心に近い矢を射ったチャイニーズタイペイチームが1cmの差で優勝、JOCエリートアカデミーチームは準優勝となりました。このシュートオフで誰かが10点を射ち抜い

ていれば勝できたことを考えると、緊張した場面でも最高のパフォーマンスが発揮できる練習が必要だということ、チームの全員が強く感じた試合でもありました。

今大会、団体戦で韓国に勝てたことは今後アカデミー生が競技をしていく中で、大きな自信になったことが大きな収穫でした。

渡邊さんは「JOCエリートアカデミーに入って、初めての国際大会でした。最後の一射まで諦めずに射てたと思います。また、いろいろな国の選手達と交流できとてもよい経験になりました。次のU-17日本代表選考会で代表になれるよう、人一倍練習していきたいです」とコメントしています。

【ボート】 ソフオー国際レガッタ

7月1日、2日の両日、デンマーク東部のシェラン島で2017年ソフオー国際レガッタが開催されました。

デンマーク遠征中の青木君がU19男子シングルスカルに出場し、3位に入り銅メダルを獲得しました。予選を2位で通過し、全体の6番目のタイムで決勝に進出。決勝では、格上の選手たちの中でしっかりと実力を発揮し、3位に食い込みました。

今回は海外合宿期間中の試合出場であり、日程的には



【青木君】

ハードなスケジュールでしたが、5月のドイツでの試合に比べ余裕ができ、予選をコントロールし決勝に合わせることができる

ようになっていました。技術面でも改善が見られ、実りの多い大会となりました。

青木君からは、「国際大会で初めての表彰台に立ち上がったので、最後の最後までトップの選手に食らいついていきました。表彰台に立ったときはすごく嬉しくて、頑張ってたよかったなと思いました。次の大会では表彰台の頂上に立てるように頑張ります」とのコメントがありました。

【卓球】 アジアジュニア選手権大会

2017年アジアジュニア卓球選手権大会が6月29日から7月4日までアサン(韓国)で開催され、日本代表として宇田君、長崎さん、木原さんの3名が出場しました。



【宇田君(右)】



【木原さん(右)】
日本卓球協会ホームページより

この大会は秋に開催される世界ジュニア選手権大会のアジア地区予選も兼ねており、団体戦の上位5カ国に出場権が与えられます。

団体戦では、女子は中国に惜しくも敗れ準優勝でしたが、出場権を獲得しました。男子は準々決勝で台北に敗れ、順位決定戦にまわりましたが、5位となり、出場権を獲得しました。今大会の反省を活かし、世界ジュニア選手権大会では、昨年度に続き男女とも団体優勝を果たして欲しいと思います。

【主な競技結果】

- ・ジュニア男子ダブルス
宇田幸矢(EA)／戸上隼輔 組:3位
- ・ジュニア女子ダブルス
木原美悠(EA)／皆川優香 組:3位
- ・ジュニア女子団体
長崎美柚、木原美悠 (ともにEA)、他2名 :2位

教育プログラム (アンチ・ドーピング研修)

7月17日にアンチ・ドーピング研修を実施しました。

この研修は教育プログラムの一環として、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の協力のもと毎年行っているものです。JADAの教育プログラムは、アンチ・ドーピングの考え方や観点から「ただ勝つだけではなく、同世代や次の世代のロールモデルとなるアスリート(真のチャンピオン)」への段階的な理解・実践を目指しています。

それらを踏まえて、今年度は4月に入校した10期生と、9期生までの2つのクラスに分けプログラムが提供されました。

○10期生クラスの研修テーマ

「スポーツの価値やアンチ・ドーピングを知る(気付き)」

○9期生までのクラスの研修テーマ

「スポーツの精神を理解し、その価値や行動力を育む(理解)」

すでにドーピング検査を受けたことのあるアカデミー生もおり、今回の研修を通して「フェアプレイの精神」は勿論ですが、それ以外にもアカデミー生としてふさわしい振る舞いや言動といった「人間力」が培われることを期待しています。

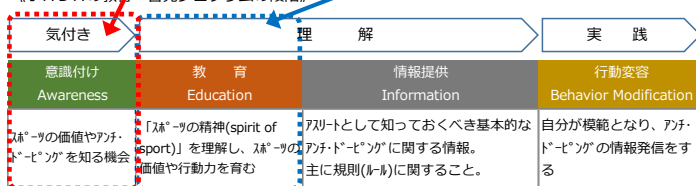


【10期生クラス】



【9期生までのクラス】

《JADAの教育・啓発プログラムの段階》



※JADA: アンチ・ドーピング教育・啓発プログラム一覧より

【主な大会予定】

【卓球】

- ◆ITTFジュニアサーキット
香港ジュニア & カデット
オープン
・参加者: 竹内、長崎、木原
・日程: 8/1-7
・会場: 香港
- ◆ITTFワールドツアー・ブルガリアオープン
・参加者: 宇田
・日程: 8/13-22
・会場: パナギリシテ
- ◆ITTFワールドツアー・チェコオープン
・参加者: 張本
・日程: 8/22-27
・会場: オロモウツ

【飛込】

- ◆インターハイ
・参加者: 全員
・日程: 8/15-8/20
・会場: 宮城
- ◆全国JOC杯
・参加者: 全員
・日程: 8/21-25
・会場: 大阪

【レスリング】

- ◆インターハイ
・参加者: 榎、佐藤、鏡
・日程: 7/29-8/2
・会場: 山形
- ◆ジュニア世界選手権大会
・参加者: 南條
・日程: 7/31-8/6
・会場: ダンペレ(フィンランド)
- ◆世界選手権大会
・参加者: 須崎
・日程: 8/19-27
・会場: パリ(フランス)

【フェンシング】

- ◆インターハイ
・参加者: 月野、丸山
・日程: 7/31-8/3
・会場: 宮城

【ライフル】

- ◆東アジアユース
エアガン選手権大会
・参加者: 清水、上田
・日程: 8/1-7
・会場: 長崎

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL: 03(5963)0355/FAX: 03(5963)0356